

1/18 防空壕跡アート展示



▲オブジェの横でパフォーマンスする神野さん

鶉野町の巨大防空壕跡で、神野翼さん（神戸市出身の芸術家）による現代アートの展示とパフォーマンスが披露されました。大戦当時の鶉野で訓練を受ける若者の苦悩や葛藤という内面をオブジェやパフォーマンスで表現しました。過去と現代を結び、鑑賞者の私たちが、生きるという事をあらためて自身で見つめなおし問い直すことを表現されました。

1/22 北条東小学校5年生 「がん」を学ぶ



▲酒井先生の話に耳を傾ける児童ら

北条東小学校は2017年度より5年生を対象に、がんやがん患者について正しく学び、健康と命の大切さへの理解とガンの予防や早期発見を目的とした「がん教育」を実施しています。この日、学校医の酒井先生から「知っておきたいがんの話」と題し、授業を受けました。児童は「身近な人が、がんになったら寄り添い、励ましたい」と感想を話しました。

2/1 ワールドマスタース出場に向けて



▲コーチのトスでボレーを打つ受講者

令和3年5月開催のワールドマスタースゲームズ2021 関西。加西市で行われるテニス競技を盛り上げようとテニススクールを開講し、初日は32人が参加。30歳以上ならどなたでも参加できるこの大会。テニス競技は3月1日にエントリーを開始。参加者の1人は、「大会に出場してメダルを獲得するため、しっかり基礎を身につけたい。」と意気込んでいました。

2/3 小学生がミニらかんづくり



▲完成した作品は、3/15まで五百羅漢で展示しています。

北条東小学校5・6年生11人が、クラブ活動で石仏彫りに挑戦しています。

昨年5月から五百羅漢保存委員会のメンバーに指導を受けながら、縦横10cm、高さ30cmの「高室石」を、のみとハンマーで彫っています。最初は戸惑っていた児童たちも、今では顔の表情などの細かい作業をこなせるようになりました。

広告

広告

2/11 旅せよ乙女～失恋を癒す女子旅～



▲板割り体験をする参加者

観光まちづくり協会主催で「失恋を癒す女子旅」をテーマにしたモニターツアーを開催しました。

京阪神などから失恋経験のある20～40代の女性が北条鉄道に乗って、市内で空手の板割やアロマテラピーなどを体験。昼食では特大のやけ食いバーガーを楽しまれました。参加者は「日常を忘れてのんびり癒された」と笑顔で話されました。

2/12 古代の土器が焼けました！



▲各児童が作った土器を手に集合写真

この日、北条小学校6年生が作った「ミニ羅漢」や「縄文土器」が焼きあがりました。ミニ羅漢は6月のPTA活動の時に親子で、また縄文土器は総合的な学習の時間に作ったものです。地面に穴を掘り、もみや木ぎれを積んで焼く昔ながらの方法で焼き上げました。歴史や焼き物についての学習を深めるとともに、焼きあがった作品は卒業記念として学校に残します。

2/13 県広報コンクールで「特選」を受賞



▲紫電改実物大模型の組み立て作業を取り上げた7月号の表紙

兵庫県内の各市町が、2019年の1～12月の間に発行・発表した各種広報媒体（広報紙・広報写真・映像作品）のうちから、作品を選び表彰する兵庫県広報コンクール。第67回兵庫県広報コンクールが本年度も開催され、このたび各部門の入賞作品が決定し、加西市の「広報かさい7月号」が広報写真部門（一枚写真の部）で特選に選ばれました。

2/17 フォトコンテスト入賞作品



▲安田さんの作品「周遍寺の日ノ出と雲海」

令和元年10月～令和2年1月に撮影したふるさと加西の絶景写真のフォトコンテストを行いました。応募総数54点の中から最優秀賞、優秀賞、佳作が決まりました。（現在は、2～5月に撮影した写真を募集中）  
最優秀賞：安田 良宏（福住町）  
優秀賞：河合 芳（田原町）、板井 正和（網引町）  
佳作：辻 昇三（両月町）、森川 清美（姫路市）

まちの出来事

広告

広告